

基本目標	望ましい街の姿（基本目標レベルで目指すべき将来像）	重点戦略課題
<p>元気な経済が生まれ、 安心して働ける街さっぽろ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、本市の様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活気に満ちています。働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。 ■ また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。 	<p>中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援</p> <p>安心して働ける環境づくり</p> <p>協働による観光振興とコンベンション事業の推進</p> <p>さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出</p> <p>アジアの産業ネットワークの拡大</p>
<p>健やかに暮らせる 共生の街さっぽろ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者、障がいのある人、子育て家庭など誰もがお互いを理解し、尊重し合いながら、地域の中でふれあい、支えあって生きいきと健康に暮らしています。 ■ 地域の交流や支えあいを通じて、人と人のネットワークが核となって、様々な分野に市民活動の輪が広がり、課題の解決や目標の実現に向けて、個性豊かな地域づくりが進められています。 	<p>魅力あふれる地域づくりの推進</p> <p>少子化対策の推進</p> <p>地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進</p> <p>地域での健康づくりの推進</p>
<p>世界に誇れる 環境の街さっぽろ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多雪寒冷な気候がもたらす北国らしい明瞭な四季を通じて、ゆたかなみどりや水辺、雪など変化にとんだ自然環境を身近に楽しむことができます。 ■ 都心部や地域の中心などでは、都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー利用効率や公共交通の利便性に優れ、誰もが大都市ならではの快適な生活を送ることができます。 ■ 都市の環境を守り、将来の世代に良好な環境を継承するため、市民一人ひとりが資源やエネルギーをできる限り使わない、ごみを発生させないといったことを基本とする生活が定着しています。 	<p>水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現</p> <p>地球環境問題への対応と循環型社会の構築</p> <p>ゆたかな冬の暮らしの実現</p> <p>歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造</p>
<p>芸術・文化、スポーツを 発信する街さっぽろ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誰もが気軽に参加できる文化活動が街のいたるところで行われているとともに、市民のライフスタイルや多様なスポーツ活動に応えることのできる環境づくりが進み、文化、スポーツを身近なものとして感じるすることができます。 ■ 札幌ならではの質の高い芸術や伝統文化に触れる機会が充実するとともに、スポーツにおける札幌ブランドが高まり、札幌の街の個性として独自の文化を育てています。 ■ 芸術・文化やスポーツの魅力あふれる札幌の都市文化を世界に向けて発信し、国内外の人たちとの交流を深めています。 	<p>芸術・文化の薫る街の実現</p> <p>スポーツの魅力あふれる街の実現</p>
<p>ゆたかな心と創造性あふれる 人を育む街さっぽろ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもたちは、地域社会の中で温かく見守られながら、夢や目標の実現に向かって、学習やスポーツに生き生きと取り組むとともに、社会の一員として、家族や友人と一緒にボランティアや地域活動にも積極的に参加しています。 ■ 市民のだれもが、それぞれのライフステージで積極的に学び、ゆたかな人間性や創造性を培い、学んだ成果を様々な機会で発揮するとともに、自分の可能性に挑戦し海外でも活躍するなど、人生に生きがいや楽しさを感じながら暮らしています。 	<p>自立した市民に育てる教育の推進</p> <p>さっぽろを支え、発信する人づくり</p>

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

市の素案

(仮称) 戦略目標 (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

札幌の経済を担っている多様な中小企業が、常に時代の変化に敏速に対応し、新たな事業に果敢に取り組んでおり、また、豊富な人材集積やきめ細やかな支援制度を背景に市民やNPOによる起業が活発化し、持続的な経済の活力が生まれています。

現状と課題

- 市内に所在する企業は、9割以上が中小企業
- 金融機関の貸し出し姿勢が抑制的なこと等により企業に資金が行き渡らない事例も散見
- 充実した人材育成や情報収集の仕組みを持つ企業は多くはない
- 市内の企業数は減少傾向（廃業率が開業率を上回っている）
- 開業率（高い順に：卸売・小売業・飲食店、運輸・通信業、金融・保険業、サービス業、・・・）
- 廃業率（高い順に：卸売・小売業・飲食店、金融・保険業、運輸・通信業、建設業、・・・）
- 起業を目指す市民が積極的に開業し、自立的企業となることが可能な環境整備
- 起業だけでなく、新事業、新分野へチャレンジする企業等に対する支援

各主体の主な役割 ((仮称) 戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規創業へのチャレンジ ・ ベンチャー企業への理解・投資 など
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新事業・新分野への展開 ・ 技術開発への積極的な取り組み など
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活サービス分野でのビジネス展開 など
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業支援制度の拡充 ・ 創業支援体制の強化 ・ 新しい産業分野に関する情報提供 など

施策の基本方針

- 「札幌元気基金」の枠組みづくりを進め、ニーズに応じた効果的な資金面での支援を強化する
- 専門家によるアドバイザー制度・人材育成や情報提供の充実など、きめ細やかな支援を行う



施策

<資金面での支援の充実>

- 高い技術を有しながら担保不足等で融資を受けることが困難な企業や、仕入れ・決済など短期の資金が必要な企業に対する支援策の充実

<人材育成、情報提供などきめ細やかな支援>

- 豊富な知識や経験を有する人材の活用によるアドバイザー制度の充実
- 経済環境の変化にも高い適応力を有する実践的な人材の確保及び育成
- タイムリーで企業経営に有益な情報の幅広い提供

<起業や新分野進出に関する支援>

- 「札幌元気基金」の枠組における起業や新分野進出関連に重点を置いた施策の実施
- セミナーや交流会、事業計画の立案や資金計画の策定についての相談業務等の充実
- コミュニティ活動の中心として地域に密着した商店街の活動や地域密着型市民事業（コミュニティビジネス）など、地域に根ざした事業活動に対する支援の充実

分科会での主な議論

- 札幌の中小企業の大部分を占める零細企業に着目した支援策を考えるべき
- 従前と同じ制度で支援するのではなく、新しい仕組みをつくる観点で考えるべき
- 既存のやり方とは違う元気基金・支援施策
- 産業振興策を実行する仕組み
- 専門家ネットワークによる相談・支援機能を強化・PRするべき
(経営の問題から家庭の問題までサポートできる相談員、相談体制 など) など

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：安心して働ける環境づくり

市の素案

(仮称) 戦略目標 (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

産業の円滑な構造転換や新たな産業の創出を背景に、時代にマッチした雇用が常に生み出され、高い求人倍率となっています。また、職業紹介のほか、相談やスキルアップのためのセミナーなど就労を支援する制度を活用した就職者が増加するとともに、ライフスタイルに応じた働き方が可能となり、少人数グループによる共同事業などの新たな就労のスタイルも増えてきています。

現状と課題

- 道内完全失業率は、全国を上回る厳しい数値
- 札幌圏有効求人倍率は、全国より低い水準。45歳以上の倍率は全体に比べ一段と低倍率。また、事務的職業の倍率は低いのに対し保安の職業の倍率は高い状況
- 働く側にとっては、働き方が様々なライフスタイルや職業観に対応できていない状況。特に、意欲を持った主婦層や高齢者に対する雇用の受け皿が不足
- 建設業等構造不況業種の経営状況の悪化

各主体の主な役割 ((仮称) 戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会への積極的な参加 ・ 職業能力の向上や自己啓発、職業訓練への主体的な参加 など
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に密着した企業活動と雇用の場の創出 ・ 多様な就労形態や就労機会の提供 など
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用によらない新たな働き方や多様な就労形態による就労機会の提供 など
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用のマッチング機能の強化・拡大（総合的な就労支援の場の提供、求人情報や各種助成制度などの情報提供） ・ 多様な働き方の支援 (いずれも国、道、市との協働による) <p><※ 民間ノウハウの積極的な活用> など</p>

施策の基本方針

- 再就職を目指す女性、中高年、若年等への総合的な就労支援体制づくりを、国等と連携し進める
- 新たな働き方や多様な雇用の場の創出を図るなど、雇用の安定に取り組む
- 建設業等の構造不況業種について総合的な支援策を実施する

施策

<積極的な就労支援>

- 再就職を目指す女性、中高年者や若年層などの方々が就労するための総合的な支援体制の整備
 - 若者の職業意識の形成、啓発
 - 地域に埋もれた求人の拡大
 - SOHO^{注1}、事業協同組合^{注2}、ワーカーズ・コレクティブ^{注3}など雇用によらない働き方への支援
- 注1 SOHO(small office home office)：情報通信ネットワークを活用した働き方のうち、小規模な事務所や自宅で行うもの
- 注2 事業協同組合：4人以上の小規模事業者の参加により設立し、組合員の経営の近代化・合理化・経済活動機会を確保するために、組合員の事業を支援する共同事業を行う組合
- 注3 ワーカーズ・コレクティブ：働く人がともに出資し、事業を行う協同組合

<多様な雇用機会の創出>

- コールセンターなど雇用効果の高い人材集約型産業の積極的誘致
- 環境保全に向けた取組みの推進やコミュニティビジネス等の地域密着型事業の振興

<建設業等構造不況業種対策>

- 高い技術力と組織力をもつ力強い建設業への転換
- 企業のノウハウを活かせる他分野への進出促進

分科会での主な議論

- 専門家ネットワークによる相談・支援機能を強化・PRするべき
(最初の契約におけるトラブル対応 など)
- 地域ビジネスの中で身近な雇用機会を創出できないか
(ホームヘルパーのような在宅看護の分野での雇用創出 など) など

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：協働による観光振興とコンベンション事業の推進

市の素案

(仮称) 戦略目標 (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

四季が織りなす豊かな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め、まちが人々を引きつけ、迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまちになっています。さらに、国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンションの開催で、活気があり新たな市民文化を育むまちになっています。

現状と課題

- 近年来札外国人数は増加しているものの、来札観光客数全体は横ばい。観光客の入り込み時期にばらつきがあり、年間を通じた安定した集客が必要
- 集客交流資源の付加価値づくり等、ハード・ソフトの資産を積極活用した新たな魅力発掘が必要
- 来客数を高めるにはホスピタリティの充実が必要
- 集客効果の高いコンベンション誘致をめぐる都市間競争
- 誘致宣伝活動の共同化や周遊ルート開発の促進など、札幌と道内観光地との連携が必要

各主体の主な役割 ((仮称) 戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民、NPO等

- ・ 来客を温かく迎えるおもてなしの実践
- ・ 地域の魅力づくりへの参画
- ・ ボランティアの育成と自立化の支援 など

企業等

- ・ 観光商品の開発、誘致宣伝活動
- ・ 観光客等へのより良いサービスの提供
- ・ 観光都市を支える人材の育成 など

関係団体

- ・ 内外向けの誘致宣伝活動
- ・ 観光関係者の資質の向上
- ・ 観光資源の保護・活用の促進 など

大学等

- ・ 観光(情報)に関する研究者などの人材育成
- ・ 集客交流に関する研究情報の発信
- ・ 企業、行政との共同調査・研究 など

行政

- ・ 市民、NPO、企業、関係団体等との連携促進や支援
- ・ 国・道・他市町村との連携促進による施策展開 など

施策の基本方針

- 世界の集客交流都市の実現に向けて、観光やコンベンションの一層の振興に努める
- まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進め、また、芸術、文化等の資産を積極的に活用し、将来目標として来客2000万人を目指す

施策

＜集客交流としての魅力の発信＞

- 都市型観光と豊かな自然を融合させた魅力を集客交流資源として積極的に活用
- 札幌の魅力を国内外に情報発信するシティPRの積極的な展開
- 映画等のロケーション誘致を推進するフィルムコミッション事業等による多角的なイメージアップ

＜ホスピタリティ向上の推進＞

- まちぐるみでの観光案内機能や外国語標記の充実、啓発活動や研修の充実

＜コンベンション誘致・支援の推進＞

- コンベンション施設間の連携強化、利便性とサービスの向上、アフターコンベンション^注の充実

注 アフターコンベンション：コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など

- 行政、民間を問わないオール札幌としての機動的な誘致活動、様々な支援体制の整備

＜住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりの推進＞

- 都心、藻岩山、定山溪温泉など地域の魅力づくりを目的とした主体的な活動に対する支援

＜道内と連携した魅力の発掘・アピール＞

- 他の道内観光地域との協力の一層の推進、情報のネットワーク化などでの先導的取組み
- 札幌・北海道がもつ魅力の国内外への強力なアピール

分科会での主な議論

- 札幌独自の芸術文化を積極的に活用、発信すべき
- 魅力的な街並みや景観づくりを戦略的に展開すべき
(大通公園のような人が大勢集まるところの景観づくり・日常的に使う工夫 など)
- 札幌の情報価値を高め、発信していくことを具体的に考えるべき
(地域に目を向けた辛抱強い取組み など) など

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

市の素案

(仮称) 戦略目標 (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

市内に多数ある大学や研究機関、集積が進んだIT系企業群などを核に「知のネットワーク」が形成され、高い競争力を有する新たな産業が生まれるとともに、様々な分野で中小企業が意欲的に新しい事業にチャレンジし、そこで生まれた新製品や技術が、札幌の高い都市イメージと結びつき「札幌ブランド」として世界に発信されています。

現状と課題

- 大学等研究機関が集積。蓄積された研究シーズの活用により、多くの産業分野で発展が期待されるため、産学官連携の積極的推進が必要
- IT関連産業が集積。今後は、IT産業自体の競争力強化、ITを活用した新たな産業分野の創出・育成及び既存産業の高度化などが課題
- 市内産業全体の活性化を図っていくうえで、地場製品について、デザイン面など高い付加価値とブランドイメージの構築など新たな戦略が必要

各主体の主な役割 ((仮称) 戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民

- ・ 進歩の著しい科学技術に対する理解
- ・ 成長分野における起業へのチャレンジ
- ・ ベンチャー企業への応援と投資、情報提供 など

企業等

- ・ 技術開発への積極的な取り組み
- ・ 大学等との共同研究による製品開発
- ・ 異業種企業との交流による新事業分野の開拓 など

大学等

- ・ 需要が見込まれる新たな研究分野の開拓
- ・ 市内企業との共同研究による製品開発
- ・ 研究情報の公開と優秀な研究者の育成 など

行政

- ・ 起業を支援する窓口相談や融資制度の充実
- ・ 産学交流の場、産学のもつ技術や情報の提供
- ・ 企業同士のビジネスマッチングの促進 など

施策の基本方針

- 大学などの研究機関がもつ知の資産と産業とを結び、新たな産業をつくる
- デザイン産業を振興し、札幌ブランドを発信する

施策

<大学の知恵とITを活用した新産業の創出と既存産業の高度化>

- 本市で培ってきた産業資源の有効活用による、IT関連産業と他の産業分野の連携促進、市場の拡大が見込まれるデジタルコンテンツ分野の振興
 - 大学等の地域研究機関の研究成果と地域産業が持っている技術などの連携・融合による、ライフサイエンス^注、環境、福祉などの分野における技術力向上、新産業の創造
- 注 ライフサイエンス：生命科学。生命現象について、生物学を中心に化学・物理学などの基礎的な面と、医学・心理学・人文社会科学・農学・工学などの応用面とから総合的に研究しようとする学問
- ITを活用した既存産業分野の経営改善、競争力強化による、産業全体の高度化、新たな事業分野への進出促進

<デザインを重視した製品開発とさっぽろブランドの発信>

- 使いやすさ、見た目の美しさ等、デザインを重視したものづくりの推進
- 札幌の高い都市イメージ等の優位性を活用し、食品産業、農業の連携による新たな特産品づくり、製造業、サービス業等の各産業分野を結びつけた機能的・デザイン的に優れた新製品づくりを推進。「さっぽろブランド」として認知されるべく地域内外に発信

分科会での主な議論

- 地域に根ざした健康・医療・福祉ビジネスを育成すべき
- 福祉医療サービスとITの連携等、行政ニーズからの産業振興も検討すべき
- 地域に目を向けた取組みを辛抱強く進め、札幌ブランドを熟成していくべき
- 札幌の経済雇用や新たなまちづくりに関する取組みを積極的に発信すべき((仮称)札幌ブランド) など

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：アジアの産業ネットワークの拡大

市の素案

(仮称) 戦略目標 (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

多数の市内企業が販路拡大等を目指し、グローバルな経済活動を展開しており、特にアジアとの産業のネットワークが急速に拡大し、観光客等の来客数も飛躍的に増加しています。

現状と課題

- 経済のグローバル化が進展。市内企業のビジネスチャンス拡大を図るため、海外市場を視野に入れた経済交流の促進が必要
- 市内全体の海外進出企業数は近年横ばい
- 中小企業が国際ビジネスに取り組む場合、資金力やノウハウが課題
- 中国を中心に成長が著しいアジア地域は、販路拡大、貿易振興の最も有望な市場
- 来札外国人の8割を占めるアジアからの来客は、今後も増加の見込み

各主体の主な役割 ((仮称) 戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民・NPO等

- ・ 産業・地域・行政の情報化の推進
- ・ 観光ボランティア等の市民参加の推進
- ・ 国際コンベンションへの市民意識の醸成
- ・ おもてなしの実践 など

企業等

- ・ 異業種、産学官の協働による事業取組への参加
- ・ 技術研修生の受入れ、専門家の派遣
- ・ 旅行商品の開発、誘致宣伝活動の拡充 など

関係貿易団体

- ・ 国際ビジネスへの業務サポート機能の充実
- ・ 企業の国際化を担う人材育成の推進
- ・ インセンティブツアーの積極的受入れ、アフターコンベンションの企画や実施 など

行政

- ・ アジア経済圏との経済交流の促進
- ・ IT産業における産学官協働によるアジアとの経済交流の促進
- ・ 海外における来札誘致宣伝活動の拡充 など

施策の基本方針

- 経済交流を促進し、市内企業のビジネスチャンスの拡大や技術の高度化を図る
- 観光客等の誘致活動を積極的に進める

施策

＜アジア地域との経済交流の促進＞

- 物産展・商談会の開催など国際ビジネスを促進するための環境づくり
- ITビジネスネットワークの形成による、技術・資本・人材等の新たなビジネス連携の促進
- 北京駐在員事務所機能を活用した市内企業の対中国ビジネスの促進

＜アジア地域からの集客交流＞

- 台湾、香港、韓国について、経済的波及効果が高いインセンティブツアー^{注1}を中心とした誘致・PRを強化

注1 インセンティブツアー：企業や団体が内部の活性化や長期的な観点からの販売戦力として、社員や関係者の販売意欲の向上を図るために招待する団体旅行のこと

- 高い経済成長が見込まれる中国について、企業視察のニーズの高まりに対応し、旅行業界、本市のIT産業、食品製造業等と連携し、テクニカルツアー^{注2}の誘致・PRを強化

注2 テクニカルツアー：工場や店舗などのビジネスの現場や関連する博物館等の施設の視察や関係者による説明・紹介など含む旅行のこと

分科会での主な議論

- 札幌の情報価値を高め、発信していくことを具体的に考えるべき
(札幌在住の外国人を大切にして、来訪者を増やすべき など) など

成果指標

■成果指標とは

まちづくり計画に掲げる政策目標の実現に向けて、具体的な目標となる項目を定め、その目指すべき水準について数値などを用いて定量的にわかりやすく示すとともに、政策・施策の成果を把握していくための指標。

■新まちづくり計画での位置付け

- 基本目標に掲げる「望ましい街の姿」の実現に向けて、まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体が協働して、ともに目指していく数値目標。
- より適切な指標の選定や定期的なデータの把握など、時間をかけて検証しなければならない課題があることから、今回は、試行として位置付けている。
- 指標は、できる限り、「成果指標（アウトカム指標）」を採用するが、データがとれないなど設定が困難な場合には、「活動指標（アウトプット指標）」で代替する。

※ 指標の種類

- ・活動指標（アウトプット指標）…事業費や事業量など、具体的な活動量や活動実績を測る指標（例：道路の整備延長）。
- ・成果指標（アウトカム指標）……施策や事業の実施により得られた成果を測る指標（例：交通渋滞の緩和）。

■指標項目選定の基本的な考え方

- 重点戦略課題ごとに2～5の指標を設定。（全体で50余の項目）
- 市民にわかりやすい指標項目を基本とするが、データ把握の可否なども踏まえて選定。

■目標値設定の基本的な考え方

- 既に部門別計画などで目標値が定められているものについては、その考え方との整合性を図る。
- 新たに設定する指標については、指標の現状値や過去の推移、全国の状況などを勘案して目標を設定。

指標項目	現状値	目標値	備考
	(年度)	(年度)	
事業所増加率	▲1.3% (H13)	±0 (H18)	起業などの活発化による経済活力の向上
中小企業向け融資制度の新規融資件数	7,159件 (H14)	11,000件 (H18)	500億円の札幌元気基金の創設、利用による増
中小企業向け融資制度の新規融資額	638億円 (H14)	2,414億円 (H16-18)	500億円の札幌元気基金の創設、利用による増
中小企業支援事業利用実績	3,584件 (H14)	5,000件 (H18)	きめ細やかな支援の充実による利用増
札幌圏の有効求人倍率	0.38 (H14)	0.54 (H18)	多様な雇用機会、充実した就労支援体制などによる全国（H14）との格差の解消
札幌圏の就職者数（月平均）	5,185人 (H14)	6,500人 (H18)	多様な雇用機会、充実した就労支援体制などによる就職者の増
年間来客数	1,325万人 (H14)	1,500万人 (H18)	目標値は「集客交流促進プラン」、北海道の観光計画などを勘案して設定
来客の満足度	84.5% (H14)	90% (H18)	目標値は集客交流・シティPRキャンペーンなどの効果を勘案して設定
ボランティア体験参加者数（延べ人数）	3,609人 (H14)	10,000人 (H18)	目標値は集客交流・シティPRキャンペーンなどの効果を勘案して設定
コンベンション誘致件数	608件 (H15)	1,000件 (H18)	目標値は過去の実績、コンベンションセンターの開設効果などを勘案して設定
IT関連産業事業所数	282 (H14)	314 (H18)	過去の傾向を上回る事業所数の増
IT関連産業売上高	2,443億円 (H14)	3,027億円 (H18)	過去の傾向を上回る売上高の増
アジア地域への輸出額（札幌税関所管分）	17億円 (H14)	35億円 (H18)	過去の傾向を上回る輸出額の増 ※暦年
来札外国人宿泊者数	232,072人 (H14)	400,000人 (H18)	目標値は過去の傾向、北海道の観光計画などを勘案して設定